

●漂流者清國より還る。去十一日上海より長崎に入港せし横濱丸の船客中鹿兒島縣松原郡山川村彌石長助、同縣川邊郡石島有川岩助及び本縣宇土郡住吉村井澤彌喜太と云へる三人あり此人らは嘗て琉球八重山島の南方尖閣群島に出稼し陸海の物産を採掘し居たるも都合によりて本年より其事業を引揚げんとて去六月四日瀨入六名船夫六名を携へ八重山島を發せしに海上暴風に遭ひ、帆破れ船折れて進退全く自由ならず今は天運に任ずる外なしとて其儘手を拱えて波に漂ひしに不思議にも同月十二日無事清國温州府平陽縣の江口港に漂着せり使て破れし舟を取り繕ひなきする中港の人々も其不運の憫み薪炭、食料等を與へ役所よりも金四兩を恵まれ七月十一日一同港を出帆福建州に向ひしに葉大の小舟此のあたりの寛波に堪はず又も打流されて「カガシ」縣の三州港に漂着せり役人らしき者數名來りて三人を上陸せしめ夫々手當をなし且舟にも十分に修繕を加へ刺へ士官一名海兵廿名乘組むる軍船を出し福建迄送り届げんとて同月廿一日同所を發せしに又も途中にて暴風に遭ひ一時北家と云へる處に漂泊中偶同所に居合せたる福建の兵船右の一行を觸し其翌廿二日同所を發し七日目にて無事福建に達し該官吏等は彌喜太を伴ふて海防廳に至り事の顛末を申告し其廳内に宿泊を許されまに不重なる一行の身は如何なる惡縁に罹はれしが其の夜又と盜賊に遭ひ食料、船具は元より衣類其他強らず奪ひ去られしかば同所海防廳に於て衣食を給せらるゝと三十五日此間同所に在る我商人も追々に集り來りて三人を慰籍す殊に樂善堂の小倉氏は金四圓と衣類一枚宛を惠贈し盧山軒の寫眞師某及び德和洋行よりは各金一圓宛を與へたり斯くて八月三十一日上海行の漁船あり同所通商局の吏員一名附き添ひて出發し本月一日到着の上常盤舎で云へるに宿泊し、居ると六日其間の食料皆先方より支辨され且上海通商局長より金三十六圓、我林領事より十二圓、日本商人中より十圓を恵まれし、殊に林領事は長崎行の切符三枚を購ふて三人に與へ九日發の郵船横濱丸に乗組みて歸朝の途に就かしめられれば同十一日無事に長崎に到着し兩三日間滞在の上其郷里に向けて出發したりと漂流百日にして無事に歸宅す本人と家族等との喜びは言ふも更なり清國官廳及び我商民の恩救は感ずるに堪へたり

明治 26 年 9 月 20 日付九州日日新聞
漂流者清国より還る

●漂流者清国より還る 去十一日上海より長崎に入港せし横浜丸の船客中鹿児島県楫宿郡山川村満石良助、同県川辺郡悪石島有川岩助及び本県宇土郡住吉村井澤弥喜太と云へる三人あり此人々は嘗て琉球八重山島の南方「北方」尖閣群島に出稼し陸海の物産を採獲し居たるも都合によりて本年より其事業を引揚げんとて去六月四日漁人六名獵夫六名を携へ八重山島を発せしに海上暴風に遭ひ、帆破れ檣折れて進退全く自由ならず今は天運に任する外なしとて其俛手を拱して波に漂ひしに不思議にも同月十二日無事清国温州府平陽県の江口港に漂着せり依て破れし舟を取り繕ひなどする中港の人々も其不運の憫み薪炭、食料等を与へ役所よりも金四兩を恵まれ七月十一日一同港を出帆福建省州に向ひしに葉大の小舟此のあたりの荒波に堪えず又も打流されて「カポ」霞浦」県の三州港に漂着せり役人らしき者数名来りて三人を上陸せしめ夫々手当をなし且舟にも十分に修繕を加へ剩へ士官一名海兵二十名乗組める軍船を出し福建迄送り届けんとて同月二十一日同所を發せしに又も途中にて暴風に遭ひ一時北家と云へる処に滞泊中偶同所に居合せたる福建の兵船右の一行を護し其翌二十二日同所を發し七日目にて無事福建に着し該官吏等は弥喜太を伴ふて海防庁に至り事の顛末を申告し其庁内に宿泊を許されしに不幸なる一行の身は如何なる悪縁に纏はれしが其の夜又々盗難に遭ひ食料、船具は元より衣類其他残らず奪ひ去られしかは同所海防庁に於て衣食を給せらるること三十五日此間同所に在る我商人も追々に集り来りて三人を慰藉し殊に樂善堂の小倉氏は金四兩と衣類一枚宛を恵贈し蘆山軒の写真師某及び徳和洋行よりは各金一兩宛を与へたり斯くて八月三十一日上海行の汽船あり同所通商局の吏員一名付き添ひにて出發し本月一日到着の上常盤舎と云へるに宿泊し、居ること六日其間の食料皆先方より支弁され且上海通商局長より金三十六兩、我林領事より十二兩、日本商人中より十兩を恵まれし、殊に林領事は長崎行の切符三枚を購ふて三人に与へ九日發の郵船横浜丸に乘組みて帰朝の途に就かしたれば同十一日無事に長崎に到着し兩三日間滞在の上其郷里に向けて出發したりと漂流百日にして無事に帰宅す本人と家族等との喜びは言ふも更なり清国官庁及び我居留官民の恵救は感ずるに堪へたり